

# 東京学芸大学書道科同窓会 硯心会だより 創刊号

## 理事長就任にあたり

硯心会理事長 加藤泰弘

平成二十九年七月開催の理事会・総会において硯心理事長に選出されました。平成三十年度の事業を進めるに当たり、会員の皆様へ一言ご挨拶を申し上げます。これまでの諸先輩方の運営を受け継ぎ、本会の充実・発展のために努力する所存ですのでよろしくお願ひいたします。

さて、平成三十年三月、東京学芸大学教育学部中等教育教員養成課程書道専攻十一名、芸術スポーツ文化課程書道専攻九名が卒業し、硯心会に入会しました。この卒業生は、第六十六期生にあたります。これまでの通算会員数は一六〇〇名超。これほどの長い歴史と多くの卒業生によって東京学芸大学書道科同窓会（硯心会）は支えられて

います。本会の会員には、書壇、書写、書道の研究や教育、学校現場の他、生涯学習の多様な場面で、書に関わっておられる方々がたくさんおり、様々な成果をあげていると聞いております。同窓会の理事長として、会員皆様の動向を可能な限り把握するようにし、その縦と横が、何らかの形で繋がりを見せ、それが、小さくとも一つの力となるよう尽力したいと考えております。その一つとして、「硯心会名簿」と「硯心会だより」を四月に発行いたしました。

本会の事業には二つの柱があります。一つは硯心会書展で、第三十七会展を迎えます。本展は、多様な傾向の作品が展示され、実験作もみられる

意欲的な展覧会として評価されています。会場の銀座・洋協ホールも昨年末に改装されました。本展覧会に多くの方々にご出品いただき、充実した展覧会にすることも、皆様にご一緒できればと思います。もう一つは学芸書道全国展で、今回は第四十二回展。出品点数は八千点を超えており、子供達の日頃の学習の成果を発表する場として定着してきております。指導されている児童・生徒のご出品をいただくとともに、審査会の他、本展覧会の運営に参画いただきますれば幸いです。

二〇二〇年に東京オリンピック・パラリンピックを開催する日本は、これから日本文化を世界に発信していくことが求められています。書はその一役を担うはずですが、また、情報機器が広く普及した現在、手で文字を書くこと、文字文化、書文化の意味と価値が確実に見直されてきています。小・中・高等学校の教育課程の改訂においても、文字文化をキーワードに大きな一歩を踏み出そうとしています。

本会の事業が、これらの動きと重なって書の魅力を広げ発信し、書文化

と書教育の充実・発展に、少しでも寄与できればと考えておりますので、会員の皆様のご協力を切に願ひする次第です。

### 二〇一七年度の理事会が開催

二〇一八年三月二日、アルカディア市ヶ谷にて硯心会理事会が開催され、硯心会の諸活動について審議がなされました。理事会の議事録については各期理事に送付済みです。今年度は役員改選の時期で、次の通り承認され改選されました。

- 会長 長野秀章、副会長 岩切 誠、廣瀬裕之、荒井一浩、理事長 加藤泰弘、副理事長 殿村美奈子、太田仁、豊口和士、監事 尾関里美、松本貴子、事務局 長 朝津祐介、本部事務局 局長 朝津祐介、会計 柳田さやか、部員 野本翔太、硯心会書展部部长 殿村美奈子、会計 前川知里、部員 河合美奈子、洋輔、森岡美香、大橋文子、打越葉衣、学芸書道全国展部部长 石井健、会計 菅夏鈴、平倉和則、永田明、村田麻里子、清水亮輔、金井茜
- ※は部員責任者、傍線は新任。

❖

硯心会書展出品者募集

今年度の第三七回硯心会書展出品要項が理事会で承認されました。以下硯心会書展の開催要項を紹介します。会員の皆様の出品をお願いします。詳細な出品書類の請求は硯心会書展部長⇨殿村美奈子(〇九〇―六四九二―八〇二八)または事務局⇨草津祐介(kusatsu@tsuru.ac.jp) まで。

会期 七月十九日(木)～二二日(日) 十時～十八時(初日は十三時から、最終日は十六時まで)  
搬入 七月十九日(木) 十時から  
搬出 七月二二日(日) 十六時から  
会場 銀座洋協ホール  
(銀座六―三二―一六階)

特別展示 東京学芸大学書道分野蔵

❖ 日本金石拓本上野三碑

硯心会各支部の今年度開催書展

◆千葉硯心会書展

日時 八月七日(火)～十二日(日)

場所 千葉県立美術館

◆埼玉硯心会書展

日時 八月五日(日)～八日(水)

場所 埼玉会館第三展示室

◆群馬硯心会書展

次回二〇一九年度開催予定

硯心会支部の活動について、硯心会則付則に「3. 本会は支部を設けることができる。支部は卒業年度(同期生)及び地域別とする。」とあります。地域や卒業年度のグループによる活動について、草津祐介(kusatsu@tsuru.ac.jp) までお知らせください。開催予定または開催報告として、本誌にてご紹介したいと思えます。

❖

学芸書道全国展出品団体募集

硯心会と東京学芸大学書道分野の共催で例年開催しております学芸書道全国展について、理事会にて第四二回の実施要項が承認されました。今年度は次の要領にて児童・生徒(全国小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の児童及び生徒)の作品を募集いたします。  
締切 七月二十日(金) 必着  
語句 教科書及びこれに準ずる教材  
書体 自由  
サイズ 半紙、半切(縦長使用)

整理費 半紙五百円、半切千円

審査会 七月二八日(土) 九時三十分から、東京学芸大学内書道実習二番教室(予定)にて

審査員 硯心会会員・出品団体責任者  
個人賞として東京学芸大学学長賞、硯心会会長賞、東京新聞賞(申請予定)、全日本書写書道教育研究会賞、東京都小学校書写研究会賞(申請予定)、硯心会理事長賞の特別賞の他、すべての出品作品に賞状が授与されます。また、優秀な団体には団体賞を授与します。出品書類一式の請求については、学芸書道全国展部(gakugei.shodozenkoku@gmail.com) まで。

❖

国際交流展出品の案内

理事会にて「第十五回日中韓文化交流書作展」の後援が承認されました。今年度は、八月一日(水)～八月七日(火)の日程で韓国ソウル市内の韓国美術館にて開催予定です。出品料一万八千円。出品書類の請求は、担当事務局⇨五二期・草津祐介(kusatsu@tsuru.ac.jp) まで。

二〇一八年度硯心会名簿発行

この度、「第4条 本会は会員相互の親睦をはかり書道・書写の研究と発展に貢献することを目的とする」ために、新名簿を発行いたしました。購入希望の方は、郵便局備付の振替用紙にて「〇〇二〇一〇一〇三二一七 東京学芸大学書道科同窓会(硯心会)」まで二二六〇円(名簿千円、送料二六〇円)を)送金ください。確認後、送付します。なお、名簿の購入は東京学芸大学書道科同窓会硯心会の会員一名につき二冊のみとします。

❖

硯心会総会開催のお知らせ

二〇一八年七月二二日(土)、十八時より、銀座洋協ホールにて硯心会総会を開催予定です。卒業生(二会員)であればご参加いただけます。是非ご参加ください。

発行所 硯心会本部事務局  
小金井市貫井北町 四一―一―一  
東京学芸大学  
加藤泰弘研究室  
発行日 二〇一八年四月一日